

事 務 連 絡  
平成26年4月23日

公益社団法人日本助産師会 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査結果について

母子保健行政の推進については、かねてより特段の御配慮をいただいているところであり、深く感謝いたします。

さて、平成25年4月現在の各自治体における妊婦健康診査の公費負担の状況について調査を行い、その結果について別添のとおり、各都道府県、政令市及び特別区あて送付したところです。

つきましては、貴会におかれましても、今後とも妊婦健康診査の円滑な実施に御協力いただきますよう、貴会会員に対する周知方よろしくお願い申し上げます。



雇児母発0423第1号

平成26年4月23日

各 { 都道府県  
政令市  
特別区 } 母子保健主管部（局）長 殿

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長

### 妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査結果について

妊婦健康診査にかかる公費負担については、地方財政措置がなされるとともに、妊婦健康診査臨時特例交付金により実施し、平成25年度以降は、地方財源を確保し、地方財政措置を講ずることにより、恒常的な仕組みへ移行してきたところであり、平成21年2月27日雇児母発第0227001号本職通知「妊婦健康診査の実施について」において、望ましい受診回数（14回程度）及び標準的な健診項目等について示しているところである。

今般、平成25年4月における各市区町村の妊婦健康診査の公費負担の状況について調査を行ったところ、その結果が別添のとおりとりまとめたので送付する。

都道府県におかれては、妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる体制を確保するため、上記通知を踏まえつつ一層の充実を図られるよう、貴管内市区町村への周知徹底をお願いします。



(別添)

○妊婦健康診査の公費負担の状況について（平成25年4月1日現在）

1. 公費負担回数の全国平均（都道府県別の状況は別紙のとおり）

全国平均 14.04回（全市区町村で14回以上助成）

（注）公費負担回数が無制限の17市町村を除く1,725市区町村について集計。

〔平成24年4月時点 14.04回（1,726市区町村）〕

2. 妊婦の居住地以外の病院、診療所、助産所で妊婦健診を受診した場合の公費負担について

	<市区町村数>
①受診した施設と契約	71（4.1%）
②償還払いで対応	596（34.2%）
③受診した施設と契約及び償還払いを併用して対応	1,074（61.7%）
④公費負担なし	0（0.0%）
⑤その他の方法で対応	9（0.5%）

※⑤については、①、②と重複あり。

3. 助産所における公費負担の有無について

	<市区町村数>
[公費負担あり]	1,742（100.0%）
[公費負担なし]	0（0.0%）

4. 妊婦に対する受診券の交付方法について

	<市区町村数>
[受診券方式]	1,429（82.0%）
[補助券方式等]	313（18.0%）



5. 妊婦1人あたりの公費負担の内容において、受診券方式で公費負担している

1. 429市区町村のうち、国で例示する標準的な検査項目について

	＜市区町村数＞
①全ての項目を実施	842 (58.9%)
②血液検査を全て実施	987 (69.1%)
③超音波検査(4回)を実施	1,148 (80.3%)
④子宮頸がん検診を実施	1,236 (86.5%)
⑤B群溶血性レンサ球菌検査を実施	1,401 (98.0%)
⑥HTLV-1抗体検査を実施	1,429 (100.0%)
⑦性器クラミジア検査を実施	1,429 (100.0%)
⑧国が例示する検査項目以外の検査項目 (例えばノンストレステスト等)を実施	593 (41.5%)

6. 妊婦1人あたりの公費負担額の状況について

全国平均 97,494円 (平均額は公費負担額が明示されていない2村を除く)

	＜市区町村数＞
①120,000円～	21 (1.2%)
②110,000円～119,999円	260 (14.9%)
③100,000円～109,999円	437 (25.1%)
④90,000円～99,999円	638 (36.6%)
⑤80,000円～89,999円	256 (14.7%)
⑥70,000円～79,999円	89 (5.1%)
⑦60,000円～69,999円	19 (1.1%)
⑧50,000円～59,999円	9 (0.5%)
⑨40,000円～49,999円	11 (0.6%)
⑩30,000円～39,999円	0 (0.0%)
⑪公費負担額が明示されていない	2 (0.1%)





妊婦健康診査の公費負担の状況について（平成25年4月1日現在）

回数	市区町村数	割合
無制限	17	1.0%
20回	0	0.0%
19回	1	0.1%
18回	0	0.0%
17回	0	0.0%
16回	5	0.3%
15回	50	2.9%
14回	1,669	95.8%
合計	1,742	100.0%

全国平均（回） 14.04  
（無制限を除く）

都道府県名	14回以上 (無制限含む) (市区町村数)	14回未満 (市区町村数)	公費負担額 (平均)
北海道	179	0	92,724
青森県	40	0	103,920 (注)
岩手県	33	0	89,530
宮城県	35	0	108,302
秋田県	25	0	98,920
山形県	35	0	82,790
福島県	59	0	109,004
茨城県	44	0	98,292
栃木県	26	0	95,000
群馬県	35	0	92,920
埼玉県	63	0	99,990
千葉県	54	0	93,923
東京都	62	0	80,690
神奈川県	33	0	63,455
新潟県	30	0	104,537
富山県	15	0	96,250
石川県	19	0	94,894
福井県	17	0	97,590
山梨県	27	0	87,742
長野県	77	0	116,214
岐阜県	42	0	118,042
静岡県	35	0	91,200
愛知県	54	0	106,725
三重県	29	0	104,390

都道府県名	14回以上 (無制限含む) (市区町村数)	14回未満 (市区町村数)	公費負担額 (平均)
滋賀県	19	0	98,693
京都府	26	0	90,330
大阪府	43	0	84,563
兵庫県	41	0	81,472
奈良県	39	0	95,782
和歌山県	30	0	96,484
鳥取県	19	0	93,940
島根県	19	0	104,935
岡山県	27	0	97,290
広島県	23	0	90,625
山口県	19	0	116,315
徳島県	24	0	113,880
香川県	17	0	105,000
愛媛県	20	0	79,400
高知県	34	0	110,380
福岡県	60	0	101,300
佐賀県	20	0	98,370
長崎県	21	0	100,000
熊本県	45	0	96,600
大分県	18	0	96,600 (注)
宮崎県	26	0	102,018
鹿児島県	43	0	102,050
沖縄県	41	0	99,100
合計	1,742	0	97,494 (注)

(注) 公費負担額が明示されていない市区町村は除く



## 妊婦健康診査で実施する標準的な審査項目について

平成25年3月22日 雇児母発0309第1号（一部改正）

「妊婦健康診査の実施について」

都道府県・政令市・特別区母子保健主管部（局）長宛

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知 抜粋

1 （略）

2 妊婦健康診査の内容等について

（略）

（1）～（3） （略）

（4）各回実施する基本的な妊婦健康診査の項目以外の各種の医学的検査について、標準的な検査項目を以下に例示するので、市町村における公費負担の対象となる検査項目の設定にあたって参酌されたい。

（医学的検査の例）

### ①血液検査

- ・妊娠初期に1回、  
血液型（ABO血液型・Rh血液型、不規則抗体）、  
血算、血糖、B型肝炎抗原、C型肝炎抗体、HIV抗体、  
梅毒血清反応、風疹ウイルス抗体の検査を実施。
- ・妊娠24週から35週までの間に1回、  
血算、血糖の検査を実施。
- ・妊娠36週以降に1回、  
血算の検査を実施。
- ・妊娠30週頃までにHTLV-1抗体検査を実施。

### ②子宮頸がん検診（細胞診）

妊娠初期に1回実施。

### ③超音波検査

妊娠23週までの間に2回

妊娠24週から35週までの間に1回、

36週以降に1回実施。

### ④B群溶血性レンサ球菌（GBS）

妊娠24週から35週までの間に1回実施。

### ⑤性器クラミジア

妊娠30週頃までに1回実施。

3 （略）

